



SIOS

SIOS Report
Vol.22

2017年12月期上半期
2017年1月1日▶2017年6月30日

株主・投資家の皆様へ



皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

2017年5月23日、当社は設立20周年を迎えました。

この節目を機に、今後さらに成長していくためのミッションを新たに定めております。

ここに、2017年12月期上半期(2017年1月1日～2017年6月30日)の「SIOS Report Vol.22」を皆様にお届けし、当上半期の業績のご報告とともに、ミッションの内容、今後の見通し等につきましてご説明申し上げます。

代表取締役社長 喜多 伸夫

連結業績ハイライト

売上高

2017年12月期 上半期

6,226百万円

2016年12月期 上半期

6,238百万円

営業利益

2017年12月期 上半期

173百万円

2016年12月期 上半期

330百万円

親会社株主に帰属する 四半期純利益

2017年12月期 上半期

89百万円

2016年12月期 上半期

88百万円

設立20周年を迎えて

当社設立の1997年当時、OSと言えばMicrosoft Windows、UNIX、メインフレームOSが主流であり、Linuxは趣味の世界のものと思われていました。

ビジネスでLinuxを使うことは非常識、不可能であると考えられていたのです。

そのような中、サイオステクノロジーの前身であるテンアートニは、将来Linuxが趣味の世界にとどまらず、ビジネスの世界も席卷することを確信し、Linuxをあらゆる分野で推進するビジネスをスタートしました。

今日Linuxは、GoogleのAndroidスマートフォンにも使われ、世界で最も多く使われるOSとなりました。

当社のLinuxを含めたオープンソースソフトウェア事業も大きく育ち、当社の礎となっています。

不可能を可能にする。これが当社のDNAです。

20周年の節目にあたり、当社は「世界中の人々のために、不可能を可能に。」を新たなミッションと定め、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献します。

※ Linuxは、Linus Torvalds の商標です。

※ その他記載の会社名および製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。





世界中の人々のために、不可能を可能に。

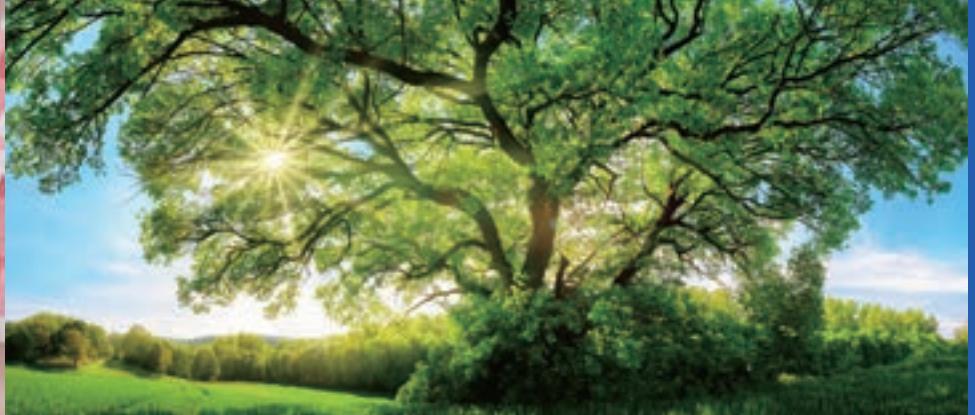
SIOS is Innovative Open Solutions

私たちサイオスグループは、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献します。

サイオスが目指す「より良い社会」とは

サイオスグループが考えるより良い社会とは、「創造性あふれる社会」「心豊かな社会」「持続可能な社会」であり、持てる力と提供する製品・サービスを通じてこれら社会の実現に貢献してまいります。





ミッションを実現するための推進力

サイオスグループがより良い社会を実現するための力の源泉は自らが保有する「テクノロジー」「ピープル」「カルチャー」です。

私たちはこれらを「ミッションを実現するための推進力 (Driving Force)」と定義しています。

Technology テクノロジー

保有するテクノロジーに強度に磨きをかけ、新たな領域にも果敢にチャレンジ

People ピープル

多様な価値観とキャリアを持つ人材を揃え、社員が持てる力をフルに発揮できる環境を整える

Culture カルチャー

大勢に流されず、人がやらないことに挑戦するこれが、サイオスグループ創業以来のカルチャー

Driving Force



サイオスが考え、取り組む、より良い社会実現のために

創造性あふれる社会

テクノロジーが持つ無限の可能性により、人々をよりクリエイティブに。

SIOS iQ

煩雑業務は人工知能(AI)に任せ、AIから得られた情報をもとに人にしかできないハイレベルな業務に集中できる

システムの
問題を予測

問題の原因を分析し
解決をサポート



心豊かな社会

楽しく学び、自分らしく働ける機会を。不安や心配をなくして心と体に健康を。

Gluegent クラウドサービス

日々の仕事を安心快適にするクラウドサービスを提供し、働く人が能力を最大限に発揮できる環境づくりを支援する



持続可能な社会

安全で安心できる暮らしを。効率的で賢い資源の利用を。生き生きとした地域社会の創生を。

Quickスキャン・Speedoc

デジタルデータにシフトすることで情報の共有・保存・再利用に関する生産性を爆発的に高めるとともに、ペーパーレス化で有限資源の浪費を抑え地球環境保全に貢献

データ
スキャン

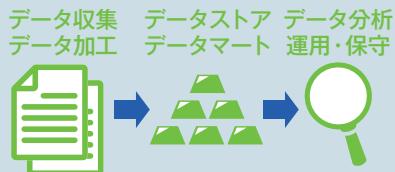
指定フォルダへ
スピーディに格納



私たちサイオスグループは、提供する製品・サービスを通じて、より良い社会の実現に貢献します。

ビッグデータ基盤インテグレーション

膨大な情報を解析し、誰にでもわかるように可視化することで新たなビジネス創造の力になる



OSS

オープンソースソフトウェアが、ソフトウェアユーザーに新たな選択肢を提供し、特定のソフトウェア開発企業に縛られない自由をもたらす



統合認証ソリューション

保有する多数のID・パスワードを統合することで、より簡単かつ安全なログインを可能にし、ユーザーにかかる負担を軽減する



Willysm

働く一人一人の気持ちを見える化、そしてポジティブにすることで、職場のコミュニケーションを活性化し、高い生産性を実現する



LifeKeeper

情報システムのダウンタイムを大幅に短縮し、自然災害等の発生時にも情報システムへのアクセスを確保、社会全体のパフォーマンスを最高水準で支える



金融取引の安心・安全を創る

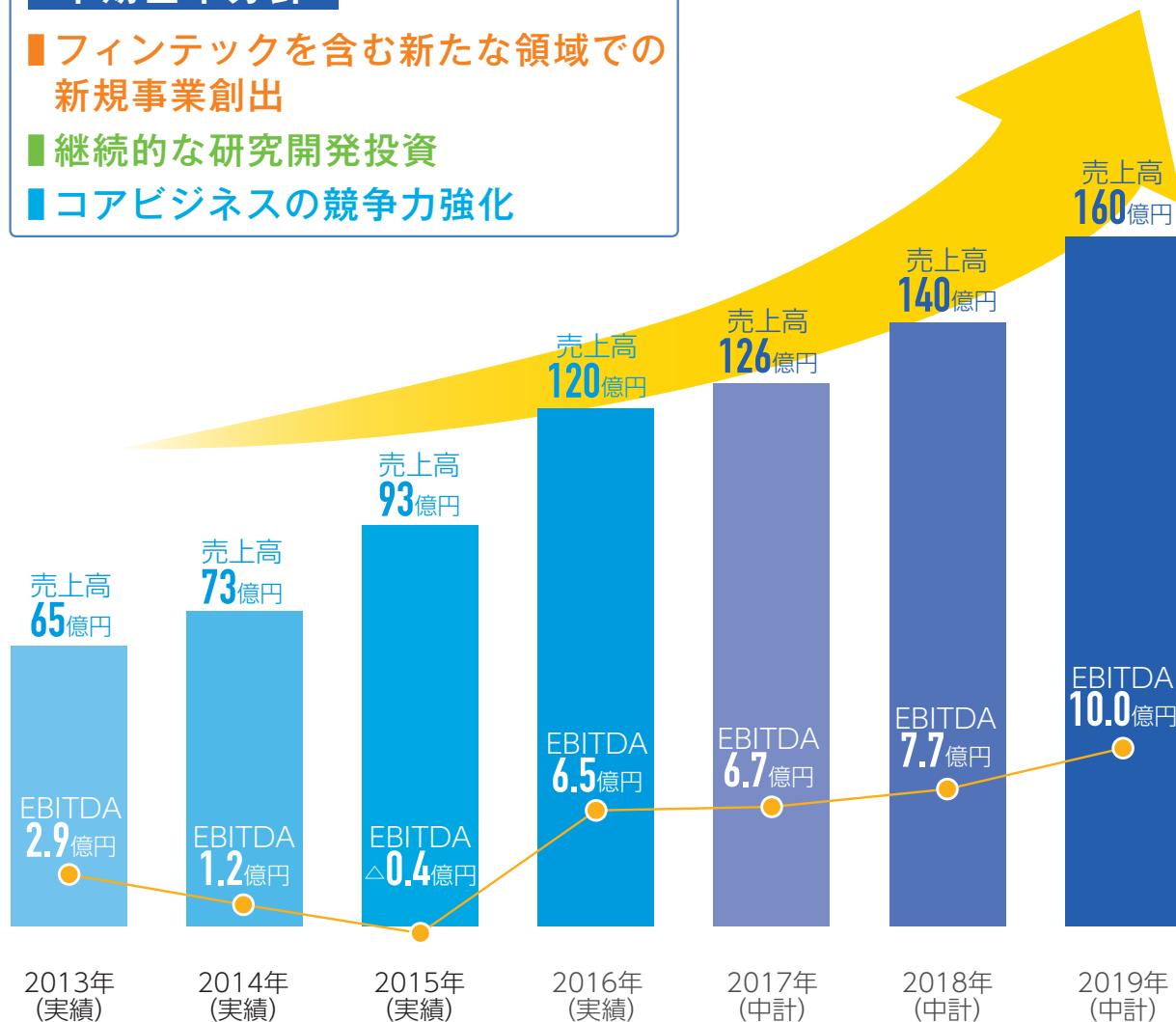
銀行、証券、保険等の金融取引に安心・安全を生むソフトウェアを提供するだけでなく、地域金融を通じて地域創生に貢献する



継続的な研究開発投資、マーケティング力、営業力の強化を推進し、
2019年には売上高160億円、EBITDA10億円を目指す

中期基本方針

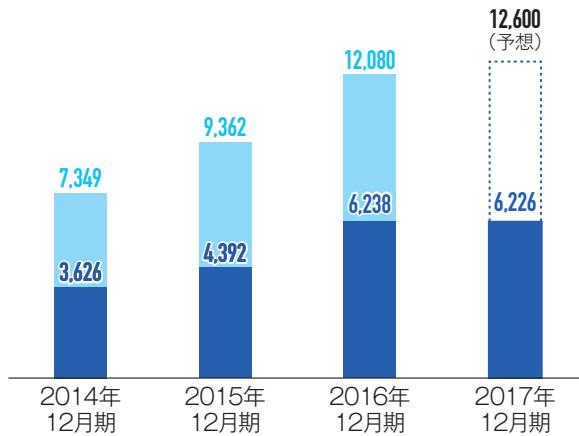
- フィンテックを含む新たな領域での新規事業創出
- 継続的な研究開発投資
- コアビジネスの競争力強化



2017年12月期上半期 業績の推移

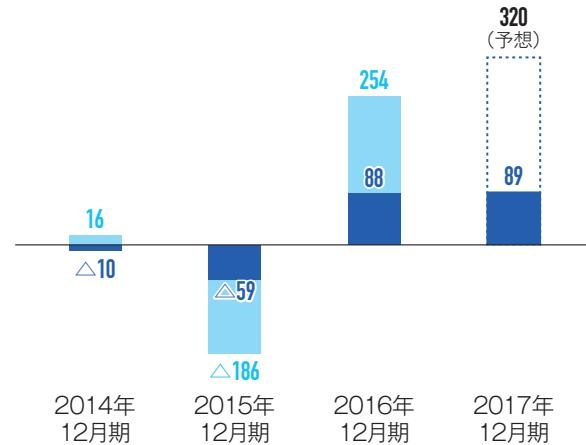
売上高(百万円)

■ 上半期 ■ 通期



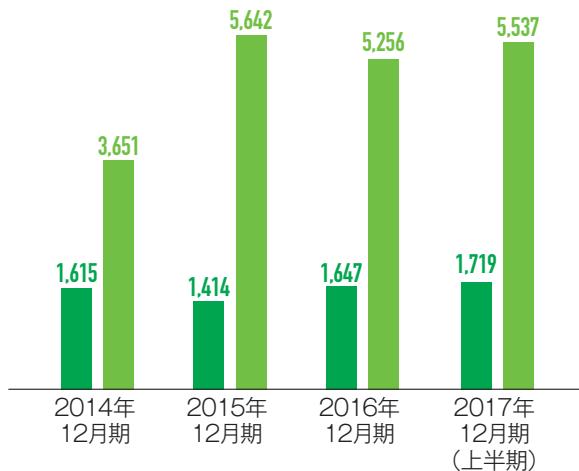
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)

■ 上半期 ■ 通期



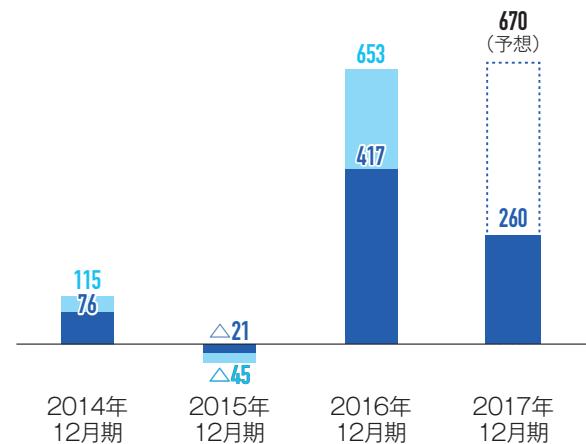
純資産/総資産(百万円)

■ 純資産 ■ 総資産



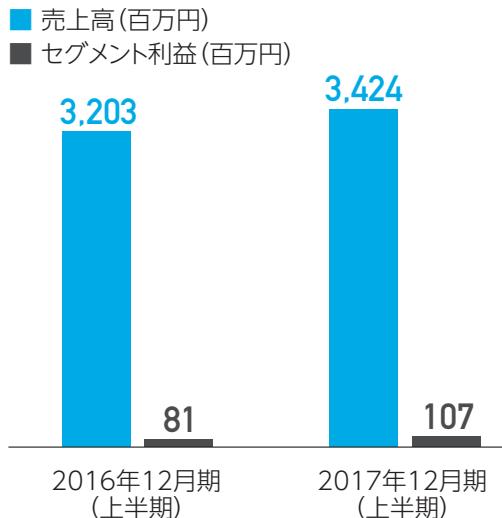
EBITDA(百万円)

■ 上半期 ■ 通期



セグメント別の業績

オープンシステム基盤事業



売上高

3,424百万円 (前年同期比 6.9%増 ▲)

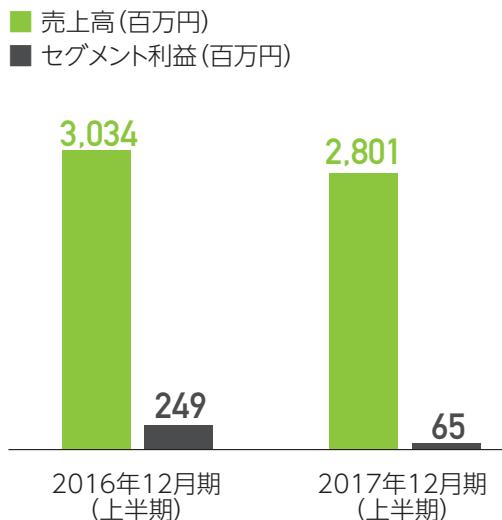
- 当社主力製品の「LifeKeeper」は順調な増収
- OSSサポートサービスやOSS関連商品は順調な増収
- Red Hat, Inc.関連商品の販売は堅調な増収
- 第2四半期としては過去最高の売上を達成

セグメント利益

107百万円 (前年同期比 32.7%増 ▲)

- 利益率の高い「LifeKeeper」が増収となったこと等により増益

アプリケーション事業



売上高

2,801百万円 (前年同期比 7.7%減 ▼)

- MFP向けソフトウェア製品は順調な増収
- 金融機関向けアプリケーション製品の販売は、前期は上期偏重であったが、当期は下期主体で見込んでいるため大幅な減収

セグメント利益

65百万円 (前年同期比 73.6%減 ▼)

- 金融機関向けアプリケーション製品の大幅減益により、セグメント利益も減益

会社概要 / 株式状況

会社概要 (2017年6月30日現在)

会社名 サイオステクノロジー株式会社
(英語表記: SIOS Technology, Inc.)

設立 1997年5月23日

資本金 1,481百万円

役員	代表取締役社長	喜多伸夫
	取締役	大塚厚志
	取締役	森田昇
	社外取締役	福田敬
	取締役(監査等委員)	平松祐樹
	社外取締役(監査等委員)	古畑克巳
	社外取締役(監査等委員)	長谷川紘之

主な子会社 SIOS Technology Corp.
(California, USA)

株式会社グルージェント
(東京都港区)

Glabio, Inc.
(California, USA)

株式会社キーポート・ソリューションズ
(東京都港区)

Profit Cube株式会社
(東京都品川区)

株式の状況 (2017年6月30日現在)

発行可能株式総数 15,000,000株

発行済株式総数 8,874,400株*

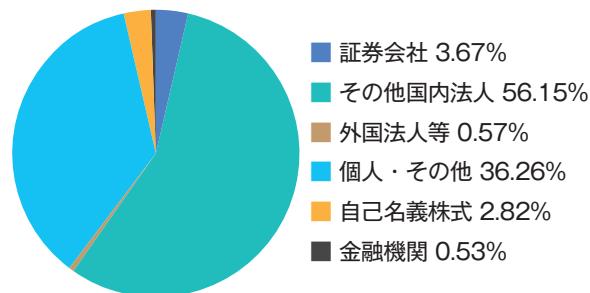
株主数 3,521名

※自己株式250,241株を含む

大株主の状況 (2017年6月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
(株)大塚商会	1,593,300	18.47
テンプスタッフ(株)	1,500,000	17.39
喜多エンタープライズ(株)	920,000	10.67
日商エレクトロニクス(株)	746,300	8.65
喜多伸夫	208,900	2.42

所有者別株式分布状況 (2017年6月30日現在)



当社の最新ニュースや事業紹介に加え、新しく策定したミッション、IR情報が一目でわかるIRニュースや財務ハイライトなど、個人投資家の皆様に当社を深くご理解いただけるよう、様々なコンテンツを掲載しております。



トップページ



ミッション



IRページ

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月
基準日	毎年12月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国支店で行っております。 ■住所変更等のお申出先について 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
公告の方法	電子公告とします。ただし、事故その他のやむを得ない事由によって公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場取引所	東証二部
コード番号	3744



サイオステクノロジー株式会社

〒106-0047 東京都港区南麻布2-12-3 サイオビル
TEL:03-6401-5111 (代表) FAX:03-6401-5112

